

# 数学って、将来何の役に立つの？



## MATHEMATICS



第156回

理学部  
コロキウム

7.22 (水) 16:30-17:40

講師紹介・質疑応答含む

場所 | 理学部B201教室(対面形式)

## 数学がソフトウェア開発で役立つ瞬間

### モバイルアプリ開発やAIモデル開発での具体例

講師 | キヤノンイメージングシステムズ株式会社 井越宣芳

「数学って、将来何の役に立つの？」

そんなふう感じたことや、周りで聞いたことはないでしょうか。

当社は、イメージングテクノロジー(映像技術)を礎に、カメラやプリンター、医療機器、産業機器など、世界中で使われているキヤノン製品のソフトウェア開発を行っています。

一見すると、ソフトウェア開発と数学はあまり関係がないように思えるかもしれませんが。しかし実際には、画像・音声認識や検索システムなど、多くのソフトウェアは数学を土台に作られており、AIブームを支える中核にもなっています。

当日は、「数学がソフトウェア開発で役立つ瞬間」について、教科書だけでなく、私自身が経験したキヤノンのソフトウェア開発の事例を交えてご紹介します。

問い合わせ先 | 長束俊治 [natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp](mailto:natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)